

2026年度勤務医師の負担軽減及び処遇改善のための取り組み計画

2026年4月1日

【目的】 当院では、勤務医師の負担軽減および処遇改善のために職場環境を整えることに努め下記の計画に取り組む。

【負担軽減に関する責任者】 事務部長：東山 拓海

【周知方法】 会議議事録 説明会の実施 院内掲示 ホームページへ掲載

【負担軽減及び処遇改善を推進する委員会】 業務改善委員会 （運営会議）

※評価は途中経過・目標達成時・3月に総合評価を行う。

	項 目	現 状 （課 題）	到 達 目 標	具 体 的 な 取 り 組 み	目標達成予定	評 価
処 遇 の 改 善	年次有給休暇取得	○勤務医師の年次有給休暇取得の理解が進んでおらず、取得日数に毎年度懸念が発生する。	○年次有給休暇取得を取得できるような体制作りを行う。	①勤務医師（常勤医師）の採用活動を進める。 ②勤務医師が休暇を取得できるような体制作りを進める。	2027年3月 2027年3月	
	勤務時間の把握	○タイムカードで勤務時間の把握を行っているが、打刻漏れが発生している。	○勤務時間の把握方法の再検討を行い、打刻漏れを少なくしていく。	①ICカード等に変更を検討し、把握方法を変更していくことを進める。	2027年3月	
タ ス ク ・ シ フ ト / シ ェ ア	医師事務作業補助者の活用	○医師事務作業補助者の作業補助業務の内容について理解が進んでいない。	○令和8年度診療報酬改定時に改めて作業補助業務の明文化があり、それを参考に補助業務を遂行できるようにする。	①当院で実施していて作業補助業務可能な内容の把握する。 ②補助業務を実施するにあたり、今まで以上の業務負担にならないか検討する。 ③検討を行った補助業務について実施する。	2026年8月 2026年12月 2027年3月	
	他職種ヘタスクシフト	○医療関係職種や事務職員等が行うことができる業務を勤務医師が実施していて、業務負担が発生している。	○医療関係職種や事務職員等に役割を分担できるものの選定を行い、役割分担を行う。	①入院・検査手順等を他職種で実施できる体制作りを行う。 ②静脈採血等の実施を他職種で実施できる体制作りを行う。 ③服薬指導の実施を他職種で実施できる体制作りを行う。	2026年8月 2026年8月 2026年8月	